



平成25年度伊那北高等学校同窓会定期総会

高 伊那北高校同窓会報

発行
伊那北高等学校同窓会
TEL 0265(72)7312
FAX 0265(76)5585
<http://www16.ocn.ne.jp/~inakita/>
印刷 ㈱マスマタ印刷

入学時に終身会費を一括納入へ 既卒者も終身会員化促進

25年度定期総会開催

平成25年度同窓会定期総会は六月八日、伊那生涯学習センターで開催。今総会は会費収入の先細りに対応するため、特に終身会費収入の増額・安定がテーマ。具体的には①高校入学時に計三万円の終身会費を一括納入してもらい即同窓会員とする②既卒者は、80才以降会費免除として、今年の令から80才に達する年数に千円を掛ける方式で終身会費を一括納入するよう要請するの二点が提案され、満場一致で承認された。

従来は、入学時に五千円を納入して準会員になっていたが、卒業後に会費徴収はほとんどが上伊那在住者に依存しており、地区によるバラつきがあるなど制度そのもののゆがみもあって、会費収入は先細りの恐れが出ている。

い、卒業時に改めて二万五千円の納入を呼び掛けてきたが、応じるのは50〜60%程度に留まっている。加えて男女共学の今、女性は結婚による改姓などで、その後の住所追跡が困難になるなどの事情もある。

卒業後の会費徴収はほとんどが上伊那在住者に依存しており、地区によるバラつきがあるなど制度そのもののゆがみもあって、会費収入は先細りの恐れが出ている。

那須弘平氏に旭日大綬章 北原久爾氏に旭日単光章

政府の春の叙勲で、母校OBの那須弘平氏(71・高12)に旭日大綬章が、北原久爾氏(79・高5)に旭日単光章が贈られた。那須氏は伊那市出身で最高裁判事を六年間、北原氏は駒ヶ根市出身で同市監査委員を二十年務めた功績。

光章が贈られた。那須氏は伊那市出身で最高裁判事を六年間、北原氏は駒ヶ根市出身で同市監査委員を二十年務めた功績。

「正義を紡ぐ」

那須元最高裁判事が講演

総会に先立ち、母校OBで最高裁判事を務めた弁護士的那須弘平氏(高12)が「正義を紡ぐ」と題して講演した。那須氏は特に最高裁で取り組んだいくつかの事案を示し「政治的問題や国民意識変化などで、正義は人によって異なるが、正しい判断は最終的には裁判官の良心に基づく」と強調。自らが取り組む法教育について「より良い社会を

出するなど、一般財団法人化に伴う「公益事業」に毎年数百万円を負担する予定で、新入学生保護者の理解を得られずとしている。既卒者の終身会員化は、会費納入を呼び掛ける中で積極的に進めたい考えだ。これらの措置を取るため会員規則改正なども承認。

副会長・監事が一部交代

今総会で役員の一部交代が行われた。副会長で女性代表の久保村正子氏(高16)が退任、唐沢由江氏(高20)が就任。監事3人のうち矢亀誠一氏(高2)、平沢清一(高6)の両氏が退任、鈴木孝勇(高10)、高坂建樹(高11)両氏が選任された。

会長

北原 明(高10) 〓再

副会長

三浦 覚(高4) 〓再

北原 久爾(高5) 〓再

竹松 徳門(高9) 〓再

唐木 孝之(高9) 〓再

馬場 秀則(高15) 〓再

唐沢 由江(高20) 〓新

監事

鈴木 孝勇(高10) 〓新

高坂 建樹(高11) 〓新

若林 由紀(高16) 〓再

校内幹事

山田 宗夫(高21)

埋橋 浩(高33)

河合 斉(高34)

事務局長

竹松 杉人